

平成 25 年 10 月 18 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 新潟市立万代高等学校・田村 一利
2. 講師氏名: ハライドワスキ アレクサンダー 博士
3. 同行者氏名: 三代木 伸二 准教授
4. 実施日時: 平成 25 年 10 月 18 日 (金)11:50 ~12:40
5. 参加生徒: 2_年生 21__人、 __年生 __人、 __年生 __人 (合計 __人)
備考: (例:理数科の生徒)
6. 講演題目: (英文) Physics and Gravitational wave cosmos
(和文) 物理学 と 重力波
7. 講演概要:
ドイツ文化、特に身近な食物や自動車などの紹介、ドイツと日本の学校制度や教育のありかたの比較、物理学の学習についての話、ご自身の研究歴や重力波の研究について講義された。ニュートン力学やアインシュタインの相対論から重力波望遠鏡の研究における古典物理の原理による測定について図やアニメーションを使ってわかりやすく講義をされた。効果的な日本語の解説や生徒の質問を引き出すなど工夫が随所にみられた。同行者の優れた解説により効果的な講義になった。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1)講演時間 50 分 質疑応答時間 5 分
 - (2)講演方法 (例:プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3)通訳 (例:同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート有り
 - (4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
プリント(宇宙線研究所および越谷市報)
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 教育上、極めて、優れたプレゼンテーションであった。